



クラス通信



木田幼稚園
令和6年3月号

3月後半まで寒い日が続いていましたが、ようやく日を追うごとに暖かさを感じられるようになり、園庭で遊ぶお子さんたちはポカポカ陽気の中で、元気いっぱい体を動かしています。進級、進学の日が近づき、期待に胸をふくらませる一方で「ほし組さん、小学校へ行くんだね」と、一人一人が自分の成長に自信を持ち、進級、進学できることを願っています。

☆ひなまつり集会

3日（月）こころホールでひなまつり集会を行いました。理事長先生から、女の子の成長を願う日である「桃の節句」についてのお話をして頂きました。みんなが健康で元気に過ごせるようお参りをし、「うれしいひなまつり」の歌を歌いました。又、各クラスで白酒に見立てたカルピスをおいしくいただきました。

☆第84回全国教育美術展、絵画表彰式

7（金）に絵画表彰式を行いました。幼稚園として教育美術奨励賞、その他個人賞は、特選2名、入選5名が受賞し、皆でお祝いしました。木田幼稚園に通うお子さんたちは、絵画指導を通して様々な技法を使って絵を描き、又描くことが大好きです。今後も一人一人の気持ちが表現された一枚に仕上がる様、専任講師、照喜名先生指導の元絵画指導に取り組んでいきます。

☆マラソン大会

10（月）マラソン大会を行いました。一月から毎朝取り組んできたマラソン。「もう 4000mも走ったんだよ。」と教師から知らされ「えー!すごいね。早くマラソンしよう!」とお子さん達。3月は、ほし組6周（300m）ぺんぎん組5周（250m）りす組4周（200m）きりん組3周（150m）の最終目標を、寒さにも負けず全員が走り切る事が出来ました。大会当日には理事長先生より「よく頑張りましたね」のお言葉と、ご褒美の金メダルをいただき、最後まであきらめずに頑張る喜び、達成感を味わう事が出来ました。

☆ほし組

始園式の日、新しい青色の名札を笑顔で眺めながら期待に胸を膨らませ、ほし組のお部屋に入ったお子さん達。進級してから早いもので1年が経とうとしています。

「先生、今日は何をする？」と専任講師による指導をはじめ、沢山の行事を心から楽しむ事が出来たお子さんたちはこの1年間で心も体も大きく成長しました。非常に活発なお子さんが多く、毎日元気な声が響き渡った幼稚園。時には喧嘩をしたり、思い通りにならずに涙を流したり、出来なかった事が出来るようになって喜んだり…。見る事、感じる事、体験する事全てに感受性豊かに取り組む15人のお子さんは教師や他学年のお子さんにも鼓舞してくれる存在でした。「小学生になったら算数を頑張りたいな」と嬉しそうに話す姿は、進級したばかりのお子さんからは想像できないほど強く、たくましくなりました。そんなほし組の皆なら小学校生活を心から楽しむ事が出来ると思います。皆の活躍を心から応援しています。最後になりましたが保護者の皆様、1年間本当にありがとうございました。



☆ぺんぎん組

ぺんぎん組になって1年が過ぎようとしています。新しい環境で戸惑いの表情も見られたお子さんたちでしたが年中組での新しい活動や体験に徐々に楽しさを感じ、時に友達とトラブルや我慢する事等も経験しました。

今では毎日の活動に満足感溢れた様子が見られ成長を感じます。体育発表会、学園まつり、音楽発表会など大きな行事の一つひとつを経験することにより、クラス全体で協力する楽しさを味わいました。進級後、日本舞踊や将棋指導やお茶のお稽古など新しい活動が始まります。目標を持って楽しく取り組めることを願っています。

保護者の皆様には1年間ご協力をいただき本当にありがとうございました。



☆りす組

4月当初は、初めての幼稚園生活に不安で涙が流れたり、何をするにも自分の事で精一杯だったお子さん達。今では一人ひとりが責任を持って当番活動の机拭きや配膳を行い、その表情は自信に満ち溢れています。又、困っている友達がいれば何も言わなくても自然と手が差し伸べられるその姿をととてもうれしく思います。

体育発表会・学園まつり・音楽発表会と各行事を1つ終える毎にクラスとしての団結力が増し、お互いに励まし合い、喜び合い毎日がとても賑やかでした。

「ぺんぎん組になったら中国語もあるんだよね!」「また幼稚園に新しいお友達が来る?」
「僕たちがお世話する!」と進級の日を心待ちにしています。皆の活躍を楽しみにしています!保護者の皆様、この1年間本当にありがとうございました。



☆きりん組

きりん組での1年間が終わろうとしています。

入園当初ご家族から離れ教師やお友達と過ごす事に親子共々、緊張や不安を持たれたスタートだった事と思います。年齢的にもまだまだ甘えたくて、真美出したり、ぐずったり...。「抱っこ」や「おんぶ」で過ごした毎日。日々、食事・排泄・衣服の着脱・身の回りの整理整頓...等基本的生活習慣の自立に向けて1つ1つを教師と一緒に繰り返し繰り返すことで身につけてきました。友達との様々な体験を通して自分で行う喜びや満足感を感じ相手を思いやる優しさを身に着け、時には自分の思い通りにならない悔しさや我慢も覚えました。どのお子さんも身体だけではなく心も大きく成長し、1年前とは見違える程です。今年度のきりん組は自分に自信が持てないお子さんが多かったですが、途中入園の1名を加え全12名が3学期にはぐんと成長し、毎日をにぎやかに過ごす事が出来ました。お子さん達の純粋無垢な心や笑顔に触れ教師も数えきれない程の喜びや笑顔をいただき、沢山の思い出を紡ぐことができました。

お子さん達、保護者の皆様に感謝しますと共に来年度のさらなる成長を願っています。

